

-----8月29日-----

今週のアウトルック（8/29～9/2）

先週は通貨ペアによって少しまちまちな状況となりました。全般的にはドル売りからドルの買い戻し、週末には再びドル売りとなり、ポジション調整的な動きが強かったように思います。

FRB議長の会見で、追加の経済支援に触れることがなかったため、トレンドの発生を抑えてしまったようにも思います。

また、日本の格付けに関する報道もほとんど影響がなかったため、円買いトレンドはなかなか消えそうにもないようです。

今週は週末に雇用統計を控えて、結果によっては大きくドル売り、あるいは一時的なドルの買い戻しに動くことも予想されます。

ドル円は、先週中盤から買い戻しが優勢となりましたが、週末には再び76円台後半に戻しています。イベント前の利益確定売り終了という見方もできるように思います。

今週は週末に雇用統計を控えて、思惑の絡んだ動きが出やすい状況になりそうです。結果的には余程大きな改善がない限りは、ドル売りが進むように思いますが、一時的にドル買いに傾くことも予想されます。

ドル円の予想レンジは75円から77.5円です。

ユーロは、ユーロドルのこのところのレンジ上限である1.45まで上昇して週末を迎えています。1.455を抜けて更に上昇するようなことがあれば、レンジから上昇トレンドに変わったという判断も下せそうですが、EUの状況からはまだなかなか難しいように思います。

ユーロ円も109円から112円あたりのレンジからは、まだ抜け出せそうにないように思います。

ユーロ円の予想レンジは109円から112円です。

ポンド円は、ドル円のドル売りの影響を受けやすい状況になってきたようにも思います。今週ドル円の円高がもう一段進むようであれば、ポンド円も124円以下を目指すような展開になるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは123円から127円です。

今週は、米国雇用統計を控え、日本の政治の事実上の空白からも、一段の円買いを仕掛けやすい状況かもしれません。夏休み明けのトレーダーのポジションメイクからの乱高下も予想されるため、大きなポジションは控えた方が良くもれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。